



佐賀県小・中学校  
学習状況調査

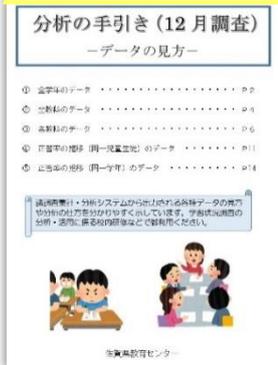
## 【12月調査】に関するお知らせ

学習状況調査[12月調査]の実施及びその後の採点や結果の入力作業等、ご協力いただきありがとうございました。

今月号では、諸調査集計・分析システムから出力することができる各種データの見方や分析の仕方を示した「分析の手引き」の紹介と[12月調査]の各種資料の公開に関する今後のスケジュールをお知らせします。

### 【1月24日(火)公開】「分析の手引き」をご活用ください！

「分析の手引き」の表紙



「分析の手引き」には、諸調査集計・分析システムの各種データの具体例を挙げています。分析の仕方や分析の目的に応じたデータの選択の仕方が簡単に分かるようになっています。

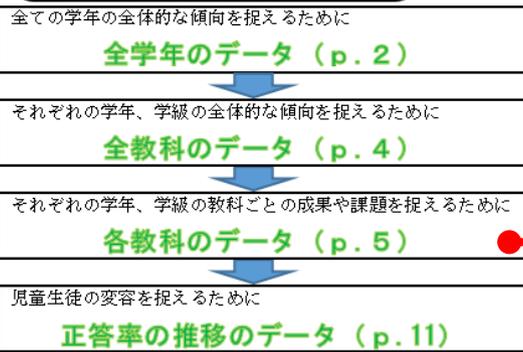
例えば、次のような内容を把握し、簡単に分析することができます。

- ① 全ての学年の全体的な傾向
- ② 特定の学年・学級の全体的な傾向
- ③ 教科ごとの成果や課題
- ④ 児童生徒の変容

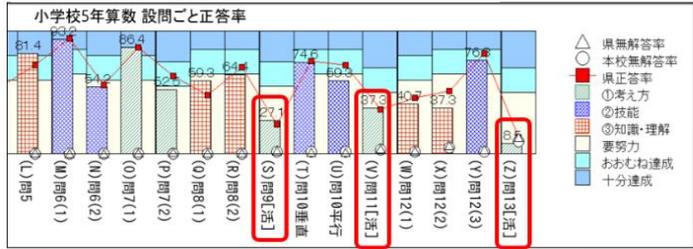
「分析の手引き」は、諸調査集計・分析システムの「個票ダウンロード」よりダウンロードすることができます。学習状況調査の分析・活用に係る学力向上に向けた校内研修などでご利用ください。分析の視点も示していますので、分析する際の参考にしてください。

### 分析の進め方

順にデータを分析することで、「学校全体⇒各学年⇒各教科」と分析を進めることができます。  
また、特定のデータのみを選んで、「〇年△組の算数はどうだったか」というように、必要に応じた分析をすることもできます。



### 【設問ごとと正答率と分析の視点の例】



設問ごとの解答状況(正答率、無解答率)を捉えることができます。グラフを見ると本校の5年算数では、「考え方」の観点で「要努力」の状況にある設問が、問9、11、13など複数あることが分かります。では、「要努力」の状況にある設問は、どのような設問だったのでしょうか？



### 【2月】調査結果の活用を更に図るために！～Web 報告書&出前講座～

#### 2月上旬「Web 報告書」公開

教育センターWeb に、[12月調査]Web 報告書を掲載する予定です。今回の調査から見られる成果や課題、指導改善のポイントが分かります。

#### 出前講座「学習状況調査の分析・活用」県内3か所で開催

「分析システム」から出力されたデータの見方や分析の具体的な仕方が分かります。自校の学力向上に向けた校内研修での活用方法について学ぶことができる内容です。追加の申し込みが可能です。是非、参加をご検討ください。

このページの記事についての問い合わせ先 研究調査担当 0952-62-5214 (直通)

昨今、社会環境が大きく変化する中で、様々な問題を抱えた児童生徒への理解と対応が求められるようになってきました。様々な個性の子供たちが少しでも安心して学校生活を送ることができるよう、「専門的な知識を習得したい」「対応を学びたい」という先生方のニーズに応え、教育センターでは、今年度、新設講座を実施しました。その中から、2つの講座の内容と受講者の声を紹介します。

## 性的マイノリティの理解と対応講座 … 9月20日(火)

福岡市のNPO法人 Rainbow Soup 代表の小岳(こいわ)ローマさんを講師に迎え、話を伺いました。当事者である講師自身の経験や思いを含めた、性的マイノリティの生きづらさを通して、学校において性的マイノリティの児童生徒が置かれている状況等を理解することができました。

その後、「性はグラデーション」という教師向けのハンドブックを参考にしながら、グループ協議をしました。どの学校にもいるであろう性的マイノリティの児童生徒（電通の調査によると5～7%と言われている）が、安心できる環境づくりや、相談された場合の対応について熱心に協議されました。参加された70人の養護教諭と24人の教職員の方々は、講座で学んだことをそれぞれの職場で広めていかれることと期待しています。



講義される小岳ローマさん



熱心にグループ協議中

### <受講者の声>

- ・保健室の中でできる支援、保健室から校内全体へできる支援が見えてきた。(養護教諭)
- ・自分の意識を見直すきっかけになった。当事者を傷付けない、孤立させない対応が必要だと思った。(養護教諭)
- ・“知らないゆえに誤解や苦しみが生まれる”というメッセージを、授業等で発信する必要があると改めて感じた。(教諭)
- ・教職員の意識を変えていくことが第一だと思った。(教諭)

## キレやすい子供の理解と学校でのアンガーマネジメント活用講座 … 8月25日(木)



受講者の中に入り、熱く語られる本田先生

早稲田大学教育学部教授の本田恵子先生を迎え、感情のコントロールが難しくキレやすい子供の理解と、子供をキレさせない対応についての講義・演習を行いました。

キレやすい子供とキレにくい子供の違いや脳の発達と感情のコントロール等のアンガーマネジメントの理論を本田先生のご実践を交えながら、分かりやすく説明していただきました。キレやすい子供への対応について、子供をキレさせない具体的なコミュニケーションスキルを学ぶことができました。

また、「アンガーマネジメントの活用の実際」というテーマで演習を行いました。「できごとを整理するシート」を用いて、子供のキレた場面を細分化し、そのときの子供の気持ちや欲求を考えることで、子供をキレさせない教師の対応について学ぶことができました。

### <受講者の声>

- ・子供への声掛け一つで子供の反応が違ったものになることを改めて理解できた。
- ・学校現場の現状を踏まえた上で、具体的な実践方法やスキルを多く学ぶことができた。
- ・「できごとを整理するシート」を用いて事例分析をしていくことで、子供の困った言動だけを見るのではなく、そこに見られる子供の欲求や気持ち、背景をつかむことが大切だと感じた。



グループで演習に取り組む受講者

次年度も喫緊の教育課題や時代のニーズに対応した特色ある講座を計画して、先生方の受講をお待ちしています。

# 情報パソコン室をリニューアルしました！



パソコンを活用する研修講座において、受講者の皆さんがより作業しやすい環境を整備するため、2つの情報パソコン室の機器を一新しました。教師用パソコン2台、実習用パソコン40台、実習用サーバー3台の更新に加えて、中間モニター20台を新たに導入しました。新たなパソコン室で、ICTのスキルを伸ばしてみませんか？

## 【ここに注目！】リニューアルのポイント！

### その1：「最新のOS・アプリケーションの導入」

OSとして最新のWindows10 Pro、実習用のアプリケーションとしてMicrosoft Office 2016を導入しました。最新バージョンのExcel・PowerPointで、校務処理や教材作成に役立つ技術を身に付けることができます。

### その2：「中間モニターの設置」

情報パソコン室で行う研修講座は、これまでは講師が操作するパソコンの画面をスクリーンに投影して進行してきました。ExcelやPowerPointの作業画面をスクリーンに投影すると「文字が小さい」「文字がぼやけて見える」というご意見がありました。

そこで、今回のリニューアルで新たに中間モニターを設置しました。「見えづらい」というこれまでの問題点が解消され、受講者の皆さんにストレスなく実習に取り組んでいただく環境が整いました。

中間モニターで、講師が演示する様子を確認しながら、実習に取り組むことができます。



受講者用PC（左）と中間モニター（右）

### その3：「70インチ電子黒板の導入」



50インチだったパソコン室の電子黒板を、70インチのものに更新しました。

研修講座で作成した教材について協議をする際に活用する予定です。また、休憩時間に各自で電子黒板を体験していただくことも可能です。

「見やすい」「操作しやすい」「動作が速い」最新の電子黒板を是非ご体感ください！

## パソコン室の利用について

県内教育関係の研究会等でも情報パソコン室が利用できます。ご利用を希望される場合は、短期研修担当（0952-62-5212）にお尋ねください。

## 【平成29年度】パソコン室で実施する情報教育関係の研修講座

情報教育の研修講座で、Excel講座とPowerPoint講座では、受講者のスキルに応じてLevelを設定しています。4月に教育センターWebに掲載するスキルチェック表を確認し、自身のスキルに応じて受講をご検討ください。平成29年度のExcel講座を以下のとおり4段階に再構成し、きめ細かな運営に努めます。

### 【Level 1】

Excelの基本的な操作方法を学び、成績表、学習プリント、学級通信の作成など担任業務に活用できる操作技術の習得を目指します。小学校の先生向けの内容になっています。

### 【Level 2】

関数の入門編として、初めて関数に触れる方が対象です。校務処理に活用できる関数の習得を目指します。

### 【Level 2.5】新設（Level 2とLevel 3の中間程度の内容です）

データを検索・抽出するVLOOKUP関数や複数条件を満たす数値を集計するCOUNTIFS関数など、成績処理やアンケート集計等に役立つ、より実践的な関数を学ぶことができます。

### 【Level 3】

校務処理等の効率化を図るための高度な関数について理解を深めることができます。【Level 2.5】までのスキルを身に付けた方を対象とした研修講座です。

### 情報教育関係の研修講座（H29 予定）

研修講座名	実施予定の月	日程区分
Excel講座 Level 1	7月、8月	半日
Excel講座 Level 2	6月、8月、10月	半日
Excel講座 Level 2.5	8月、10月	半日
Excel講座 Level 3	8月	全日
PowerPoint基礎講座	6月、7月、8月	全日
PowerPoint応用講座	6月、8月、10月	全日
OneNote講座	6月、7月	半日
ムービーメーカー講座	6月、10月	全日
ネットワーク講座	10月	全日

※日程区分について、「全日」は9:00～16:30、「半日」は9:00～12:00または13:30～16:30、となります。

所員の「おすすめ図書」

教育センターの図書資料室は、教育に関する様々な最新情報が得られるように、書籍、新聞、雑誌等を多数所蔵しています。今回は、学習指導要領改訂のキーワードについて書かれている書籍と、学級経営のヒントになる書籍を紹介します。



「主体的・対話的で深い学び」を実現

『アクティブ・ラーニングを考える』（教育課程研究会 編著／東洋館出版社）

国では学習指導要領改訂の作業が進んでいます。学校におかれましてもその動きにアンテナを高くされている時期ではないかと思えます。今回の改訂のキーワードの一つである「アクティブ・ラーニング」については、既に様々な考えに沿った実践が全国で展開されています。元々、幅広い概念であるので、様々な捉え方ができる中で、この著書は中教審の委員や文部科学省関係者など、実際に今回の改訂に深く関わっているメンバーが共同で執筆し、アクティブ・ラーニングについて解説した1冊であり、これから、学校で「主体的・対話的で深い学び」を実現していく上での確かな指針になることと思います。この時期に、ぜひ手に取られてはいかがでしょうか。（研究課長 副島 和久）

学級経営のヒントに

『その指導、学級崩壊の原因です！「かくれたカリキュラム」発見・改善ガイド』

（横藤雅人 武藤久慶 著／明治図書）

「かくれたカリキュラム」という言葉をご存知ですか。明示されているカリキュラムに対して、教師が意図も意識もせずに教え続けている教育内容のことを言うそうです。例えば、挙手した子供の中からの指名を繰り返していると「発言は、したい人がすればいい」「自分が手を挙げなくても、誰かが手を挙げて発言してくれる」という「かくれたカリキュラム」が子供たちに浸透していくというのです。本書には、演習形式で、子供に悪影響を与えている「かくれたカリキュラム」に光を当てて実践を振り返り、改善策を探ることのできる仕掛けと解説が丁寧に書かれています。いつの間にか習慣化している自分の教育指導を見直すことができる1冊です。（小学校特別活動担当 中武 友子）

※管理職や主任の先生には、同シリーズの『その判断、学校をダメにします！管理職・主任のための「かくれたカリキュラム」発見・改善ガイド』をお薦めします。

「図書資料室」についての問い合わせ先

教育課程支援担当 0952-62-5238（直通）



2月に実施する「サタセン」（土曜日に教育センターで行う自主参加の研修会）の概要を紹介します。申込み方法等の詳細な内容は、各担当者から学校に案内します。

**各自で直接お申込みください。（管理職を通しての申込みではありません）**

校種・教科等	期日	時間	テーマ・内容等	担当者・連絡先
小学校国語科	2/4	10:00～12:30	講義「学びどき・教えどき - 教室の事実の観察と国語教育の創造 -」 次年度からどのように国語科の授業を進めていけばいいのか？実践発表を基にしながら、佐賀大学の達富洋二先生を交えて授業づくりのポイントを考えます。	古川 雅・小旗 浩徳 TEL.0952-62-5214（古川）
中学校国語科	2/4	14:00～16:30	講義・協議「1年間の指導の振り返りと次年度へ向けた準備」 佐賀大学の達富洋二先生にご講義いただけます。今年度最後のサタセンです。参加者の先生方の日頃のお悩みも含めて、皆さんで語り合います。	淵上 知子・岩瀬 弘憲 TEL.0952-62-5214（淵上）
小・中学校音楽科	2/11	14:00～16:30	「授業の不安をスッキリ解決！鑑賞の授業づくりのポイントと評価」 今、鑑賞の指導の充実が求められています。「鑑賞を通して児童生徒に身に付けたい能力は何か」等、悩みを解決し、授業づくりのポイントを一緒に考えましょう。	副島 和久・釋 美貴子・坂本 康子 TEL.0952-62-5238（釋）
小学校外国語活動	2/11	14:00～16:00	「これからどうなる？小学校英語教育についての最新情報」 今年度最後のサタセンでは、教科化に向けての最新情報をお届けします。先を見据えながら、今の授業を充実させましょう！	川原 浩子 TEL.0952-62-5238（川原）
中学校英語科	2/18	14:00～16:00	「考えてみよう！授業中のあれこれ」 いつもの取組をちょっと変えるだけで、生徒の目の輝き方が違ってきます。そんな方法をみんなで考えてみませんか。月曜日から使える工夫を紹介します。	金丸 大樹・日吉 敬子 TEL.0952-62-5214（金丸）
中学校社会科	2/18	14:00～16:30	「社会科指導のQ&A - 授業改善のヒント -」 日常の教科指導について情報交換を行い、日頃の授業づくりに役立つヒントを紹介します。授業の進め方、教材づくり、評価のことなど、一緒に考えましょう。	元山 祐介・吉末 恭享 TEL.0952-62-5214（元山）

「サタセン」についての問い合わせ先

短期研修担当 0952-62-5212（直通）